

夜間でも見える標識

《目的》

夜間は暗く、視界が悪いので、標識の**確認が困難**であることを改善する

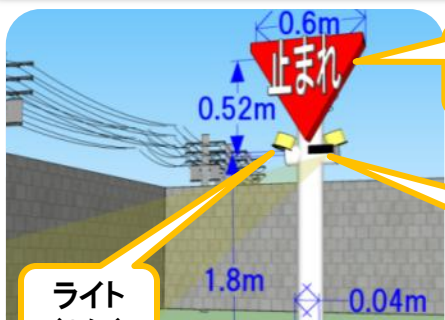
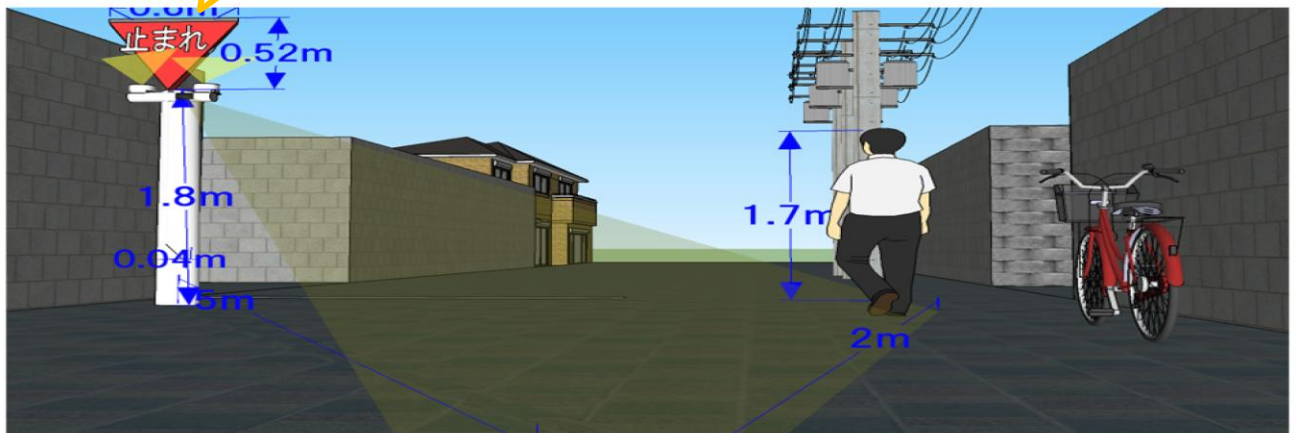
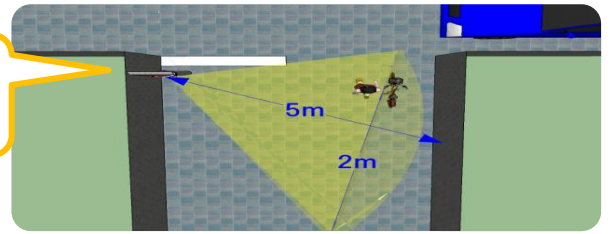
～問題点～

夜遅くまで大学にいる工大生が多く、夜間での交通事故の発生が懸念される

アイデア

車や人が通過すると、**センサー**が感知してライトが点灯する

センサーの感知範囲
幅2m 奥行き5m



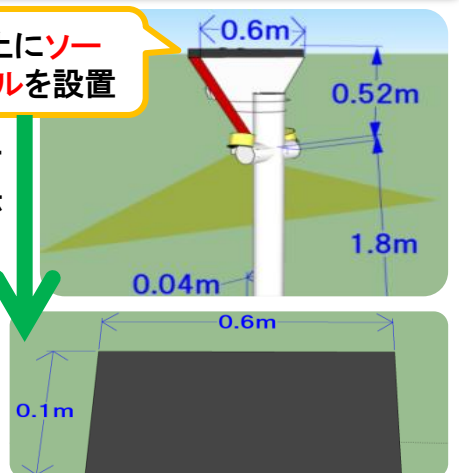
反射材を使用

センサーを取り付ける

ライト
(2個)

標識の上にソーラパネルを設置

寸法



センサー機能…標識に気付きやすくなる
反射材使用…標識が明瞭に見える
ソーラパネル機能…電気代のコスト削減

《結論》

夜間でも標識が明瞭に見えるので、標識の**見落とし**が無くなり、交差点での交通事故が減少する！

金沢工業大学
2011年度 プロジェクトデザインII
プロジェクトテーマ : 学生を対象としたT字路での自転車
飛び出し事故の抑制
クラス番号 : VE306
チーム番号 : 6
チーム名 : 6班
チームメンバー名 : 大橋広大 笠岡亮太 工藤浩之
南勇太 森山拓哉 山下智明
担当教員名 : 神山 藍